

第1回串間市入札等監視委員会について

1. 会議日時 令和7年7月22日（火）午後1時30分～午後3時30分
2. 会議場所 串間市総合保健福祉センター研修室
(宮崎県串間市西方9365番地8)
3. 出席者 【委員】 中澤隆雄委員長（宮崎大学名誉教授）
落合雅子委員（税理士）
木下博義委員（公認会計士）
永井崇敦委員（弁護士）
【串間市】総務課長、財務課長ほか関係職員
4. (1) 開 会
(2) 委員長あいさつ
(3) 議 事
 - ①指名審査会監視の結果報告（2月～7月分）
 - ②事務局説明（全体の流れ）
 - ③抽出委員による抽出理由の説明
 - ④担当課等による抽出案件の説明、質疑等
 - ⑤総括（説明を受けた内容について総合評価）
 - ⑥次回抽出委員の確認
 - ⑦入札契約制度の改革状況等について※非公開
- (4) 閉 会
5. 会議資料 別添のとおり
6. 議事概要 別添のとおり

第 1 回串間市入札等監視委員会 議事概要

○会議冒頭、委員会は原則公開とするが、串間市情報公開条例第 11 条に規定する不開示情報にあたる等の理由により、委員会が必要と認めた場合には部分的に非公開となる可能性があることなどを説明。またこの不開示情報を除き、会議資料・議事概要を会議終了後に串間市公式サイトにて公表すること、会議が公開のため会議終了後のブリーフィングは行わないことを確認。

○資料 1 をもとに事務局から 2 月～7 月分の指名審査会監視の結果報告を行った。
質疑等はなし。

○事務局から議事の流れについて説明を行った。質疑等はなし。

○資料 2 をもとに抽出委員による抽出理由の説明を行った。質疑等はなし。

○資料 3 をもとに担当課より抽出案件に係る説明を行った。各案件に関する主な質疑は以下のとおり。

(抽出案件 1) 串間市消防庁舎新築工事 (機械設備工事)

委員：辞退者が多く、2 回不落があって、3 回目に落札されているが落札率が 78% と非常に低いため何か問題があったのか。

担当課：九州管内において不落不調が相次いでいる時期であった上に、他自治体においても、大型の公共事業の発注が相次いでいて、大手事業者がほかの公共事業を受注したことにより、手持ち工事が多い状況となっていたと思われる。また、工事期間が長期の事業ということもあって技術者の確保が難しいという理由から辞退が相次いだものと考えられる。

委員：大手も含めて辞退が続いている。今後も入札の不落不調が続く恐れがあると

思われるが、市として何か対策はあるか。

担当課：九州管内において不落不調が相次いでいることから、各自治体の発注状況等を注視しながら、発注を担当する所管課と調整していく。また、受注状況や技術者の在籍状況等も情報収集を行いながら、発注について進めてまいりたい。

（抽出案件２）令和６年度 河川改修事業 石原川河川改修に伴う橋台設置工事

委員：予定価格は高額で、応札者数も多かった。９８．９７％で落札されたが、入札率が非常に高い理由の説明をいただけるか。

担当課：本件は、指名競争入札の土木工事となっており、近年と比較しても、土木工事は平均落札率が高い状況が続いている。近年、本市において、橋りょう工事の実績がない、市内業者においても本件のような１億円を超える土木工事の施工事業はまれである状況である。近年の物価高騰による影響のほか、積算システムの普及から落札率が上がってきているのではないかと考えている。

委員：市外の事業者を指名されていないが、説明をいただきたい。

担当課：今回の橋台設置工事については、技術者がいる状況。また、手持ち工事もない状況などから、総合的に判断して、市内土木Ａランクの全事業者を選んだところである。

（抽出案件３）ノート型パソコン

委員：ノートパソコンを購入して、欠陥が出た場合は同じメーカーを指名するのか。

担当課：市役所全体で５００台以上のパソコンが稼働しており、そのうちの４０台から８０台を年次的に入れ替えていくため、全てのパソコンを同時に入れ替えるわけではない。今回の入札でメーカーの指定は行っておらず、仕様書においてＯＳウィ

ンドウズの指定のみを行っている。

(抽出案件4) M i c r o s o f t 3 6 5等ライセンス使用料契約

委 員：今回のシステムの使用料は安価であるはずのものだが、何台、何年分かについて教えていただきたい。

担当課：今回の入札は物品という扱いで、M i c r o s o f t 3 6 5のライセンス使用料となっている。ライセンスについては、420ユーザーの12か月分である。

委 員：富士通でパソコンを買えばM i c r o s o f t 3 6 5は搭載されていると思うが、420ユーザーということは、全ての既存のパソコンにもM i c r o s o f t 3 6 5を搭載される予定か。

担当課：M i c r o s o f t 3 6 5とは、M i c r o s o f tが提供する様々なアプリのライセンスである。既存のパソコンを購入して付いてくるものではなく、別途ライセンス契約が必要となる。

委 員：まとめて発注すると単価が下がったりするのか。

担当課：今回のライセンスについては、1年契約をすると月額契約をするよりも安くなる。

(抽出案件5) 自治体情報システム標準化移行業務委託

委 員：落札率が100%である。随意契約となった理由は。

担当課：1社の随意契約で、相手方から設計書の見積書を徴収し、精査して入札を行った結果、落札率が100%となった。また、現在の18の事務システムの提供

事業者はA社となっており、システムの中身を変えずに標準化システムに移行するということで、時間も限られていた等の理由から随意契約となった。

○総括について、市長への具申が求められる意見はなかった。

○次回抽出委員について確認を行った。

○指名競争入札の指名基準の見直し（案）の概要について、まだ確定前の内容であることや、今後の入札の執行に影響があることなどから、この議事に関しては非公開とすることを委員会で決定した。

○次回の監視委員会は、令和8年1月開催予定（未定）。